

ヴェネズエラを訪ねて

研究第二部 主任研究員 美寺 寿人

「エー！ こんなところに着陸するの？」と言うのも束の間に、私たち5人を乗せた双発機は、普段と変わることなく土の滑走路に着陸し……

本年1月に亡くなられた関 正和氏の遺稿『大地の川』に書かれてあった『乱流するヴェネズエラのアプレ川』とは、「どんなところなんだろう？」という好奇心から、今年の中夏に南米のヴェネズエラを駆け足でしたが一回りしてきました。

そこで、皆様にその写真集の中から一部を紹介します。

一口メモ

オリノコ川

流域面積約1,123,000km²

延長約1,530km

ヴェネズエラ

国土面積約41万km²

(日本の2.5倍)

人口約2,100万人



オリノコ川河口のデルタ

写真中央部には、広大な河口デルタ地帯の中で樹木が成長し陸域が形成されようとしている。



オリノコ川河口部の浅瀬船

1年間に20億m³の洪砂量があり河口閉塞が問題となっており、航路の確保が大変とのこと。

カラカス

ヴェネズエラの首都

人口は首都圏域を含めて約

340万人



カラカスのビル街



大河オリノコ川



ゆったり流れるオリノコ川



空から見たカラカスのスラム街
山肌が茶色っぽく見える



落差1,000mのエンジェルフォール
自然の力に驚嘆するばかり。



ギアナ高地
何億年も昔のままの地層、まさに「失われた楽園」そのもの



冒頭に出てきた土の滑走路
ギアナ高地を見てウカイマへ向かう途中で、
休憩した無人の飛行場。



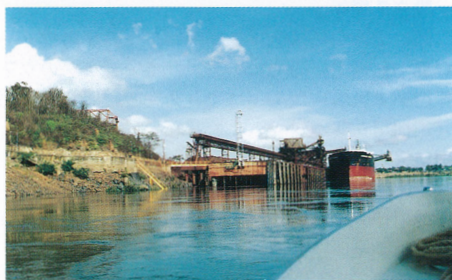
カロニ川をせき止めるグリダム

一口メモ

グリダム
世界第2位の発電所
(発電能力1,030万KW)
集水面積85,000km²
湛水面積4,250km²
堤長約7km
(コンクリート部 1km、
土堤部 6km)



カロニ川の河畔よりギアナ高地の一部を望む



プエルトルダス
カロニ川に面するプエルトルダス港の一部で、
鉄鉱石を積み出しているところ。

プエルトルダス
河口から約330kmの所に位置する中核都市



オリノコ川・アブレ川の合流点付近を望む



自由奔放に流れるアブレ川

アブレ川
オリノコ川最大支川
流域面積約167,000km²
延長約700km



カリブ海に面する砂漠地帯



カラカス中心部を流れるグアイル川

グアイル川
コンクリート三面張りの構造で底部の両サイドに下水専用の直径500mmのパイプが埋め込まれているが容量不足のために溢れ出しているそうで下水臭が漂っていた。

以上、今回紙面の都合上、詳細について紹介できませんでしたが、関心のある方はご連絡ください。

最後に今回の調査にあたり、現地において案内をしていただいたJICAの長期専門家の解良さんと布施さん、日本から行程を伴にし何かと気遣っていただいた(株)長大の朴さんに感謝すると共に、現地の手配などいろいろな面で大変お世話になった元建設省国際課海外協力官の竹内氏(現(株)長大 理事)に紙面を借りてあらためて感謝いたします。